臺灣日日新報 昭和十七年七月四日 第一万五千百三十五號 A（一）

臺灣昌新報

昭和十七年七月四日 日曜日 第一万五千百三十五號 A（一）
臺灣日日新報 第一万五千百三十五號 昭和十七年七月四日 土曜日 A（一）
（可認物便郵送認可 昭和十七年七月五日 第三種郵便物認可）

日泰攻守同盟慶祝使節團
きのふ晴れの入京
驛頭・東條首相と固き握手

【東京發同盟】大東亞新秩序建設に邁進されたタイ國使節團を歡迎すべく、ピブン首相以下使節團二行は二十五日午後三時二十五分新京驛着特別列車にて奉天より入京、この日當驛は大アーチ二基、「歡迎」の文字を掲げた大アーチ一基を設けて歡迎の意を表し、驛前廣場には滿洲國軍儀仗隊、滿洲國國歌吹奏隊、滿洲國國旗、タイ國國旗を交叉した小國旗を持つ滿洲國官民數萬が參集、ピブン首相一行の入京を待ち受けた、一行は二十五日午前十時奉天驛着、直ちに滿鐵經營の特別急行列車「あじあ」號に乘車、十一時新京驛着、驛頭には滿洲國側から張景惠國務總理大臣、張燕卿參議府議長、阿部駐滿大使、植田關東軍司令官、星野滿洲國駐箚特命全權大使、武藤關東軍參謀長、滿洲國軍將官、滿洲國官吏、滿鐵總裁、滿鐵副總裁、滿鐵理事、滿鐵參事、滿鐵各局長、滿鐵各驛長、滿鐵各地方事務所長、滿鐵各地方事務所長、滿鐵各地方事務所

圓バート等價歡迎

日泰の貿易促進に貢獻

各銀行は平常通り取引

【バンコック二十四日發同盟】圓バート等價實施は日、タイ貿易促進に極めて時宜を得たものとして各界擧げて歡迎の意を表し、殊に年來の懸案を一擧に解決したものとして感激の聲が高い、尚バート等價實施に伴ひ日本側は從來の對バート一割五分の賣超を解消し、タイ側は從來の對日一割五分の入超を解消し、日泰貿易は今後對等の立場に於て飛躍的發展を遂ぐるものと期待されてゐる

【バンコック二十四日發同盟】バート等價實施に伴ひタイ國の對日貿易は今後對等の立場に於て飛躍的發展を遂ぐるものと期待されてゐる、尚バート等價實施に伴ひ日本側は從來の對バート一割五分の賣超を解消し、タイ側は從來の對日一割五分の入超を解消し、日泰貿易は今後對等の立場に於て飛躍的發展を遂ぐるものと期待されてゐる

泰米買上價引上げ
從來に比べ約一割

【バンコック二十四日發同盟】國內米價調節のため實施されてゐるバーツ價格引上げ政策に伴ひタイ國の對日貿易は今後對等の立場に於て飛躍的發展を遂ぐるものと期待されてゐる、尚バート等價實施に伴ひ日本側は從來の對バート一割五分の賣超を解消し、タイ側は從來の對日一割五分の入超を解消し、日泰貿易は今後對等の立場に於て飛躍的發展を遂ぐるものと期待されてゐる

【バンコック二十四日發同盟】國內米價調節のため實施されてゐるバーツ價格引上げ政策に伴ひタイ國の對日貿易は今後對等の立場に於て飛躍的發展を遂ぐるものと期待されてゐる、尚バート等價實施に伴ひ日本側は從來の對バート一割五分の賣超を解消し、タイ側は從來の對日一割五分の入超を解消し、日泰貿易は今後對等の立場に於て飛躍的發展を遂ぐるものと期待されてゐる

（十六、八ピクル精一等）にけるタイ國內米價引上げ政策實施に伴ひ今回のバーツ切下げに對應せんとするもの

英米依存の反對熱

重慶政權部內遂に混亂

【重慶二十四日發同盟】ビルマ戰線における英國軍の潰滅を契機として重慶內の親英派と親米派との對立は愈々激化し、遂に重慶の政權は崩壞の一路を辿つてゐる、英米依存の態度に憤慨する中國は今や英米の援助に依らず獨力を以つて抗戰を續行すべしとの氣運が擡頭し來つたが、英國は從來の對中國政策の誤謬を認めず、米國は中國の要望する空軍の增强に應ずる能力なきため、重慶政權內部の親英派と親米派との對立は愈々激化

聖上・神靈に御親拜

靖國神社臨時大祭

第二日の盛儀

【東京發同盟】靖國神社臨時大祭第二日の二十五日は三萬遺族にとつては一世一代最上の榮の日であり、また大東亞戰の日であつた。晴れる天皇、皇后兩陛下には午前九時半宮城御發、御車にて靖國神社に行幸あらせられ、午前十時二十分、まことに嚴肅裡に第二日の祭典を終了あらせられた。時に午前十時半、まことに嚴肅なる一瞬であつた。戰歿者の靈は必ず此一瞬にこの祭場に來集するであらう、また來集せよとの祈念をこめて、全國民は一分間の默禱を捧げた。

この日、靖國の鳥居前

【東京發同盟】靖國の英靈にこたへまつる臨時大祭の第二日は、晴れわたつた春の空の下に、午前九時半、天皇陛下には御車を以て宮城を御發、同十時二十分、靖國神社に行幸あらせられた。

陛下には祭場の齋庭に設けられた御拜所に入御あらせられたその時、前十時十五分、號砲を以て祭典の開始を告げ、次で儀仗兵の捧げ銃の禮が行はれ

銃後へ有難い贈物

臺灣と南洋から内地へ大量の砂糖

陸海軍の好意で増配す

【東京特電廿八日發】砂糖にはなにかうの噂、殊り物お砂糖が五月分に限つて所配されることになつた、これは砂糖がその御用船を以つて本國から南洋の諸島に赴任してゐる陸海軍將兵の慰問に廻へるために、今回特に臺灣から大量のお砂糖を送つたもので、今回の砂糖は臺灣の砂糖の好意を陸海軍當局が感謝の意を表されたもので、この砂糖は臺灣の六大製糖會社から一人當り六大斤宛、總量にして約一萬五千噸、他方南洋では〇・二斤と發表されたので五月分の配給